

野球

平成27年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

3位決定戦

彦根東 8 — 0 近江兄弟社

バッテリィが活躍し県3位

ピッチャー 佐々木君 8回無失点
キャッチャー 篠原君 3安打3打点



◀スライダーを武器に好投した佐々木君

春8年ぶりの近畿大会へ



▲5回表、タイムリー3塁打を放つ篠原君

5月3日、県立彦根球場で平成27年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会3位決定戦が行われ、本校が8-0(8回コールド)で近江兄弟社高校を下し、23日から同球場で開幕する近畿地区大会への出場を決めた。

8回表、先頭の鯰江彰治君(3-8)が右中間に3塁打を放ち、続く佐々木大樹君(3-5)の犠飛で1点を追加。その後2死一、三塁として手原君が相手の隙を突く好走塁で本塁を陥れた。先発した佐々木君は8

本校は初回、手原健太郎君(3-3)の左前安打、中澤篤史君(3-6)の左前安打などで二死一・三塁のチャンスを作り、相手のミスにより1点を先制した。
3回表は先頭の中澤君が中前安打、鯰江里輝君(2-8)の犠打で二塁へ進み、篠原漣君(3-4)の右前安打で二点目を挙げた。
5回表、手原君が中前安打で出塁し、1死二塁から篠原君の右中間への三塁打でさらに1点を追加した。
7回表、手原君が四球で出塁し、4番の鯰江里輝君が三塁線を破る2塁打を放ち手原君が生還。続く篠原君も2塁打を放ち鯰江里輝君が生還し、6-0となった。

木君が良いピッチングをしていたので自分がチームの起点となつて攻撃していこうと思つた」と振り返った。監督の村中隆之先生は「今日は相手のミスのおかげで勝てた試合だった。必ず相手がミスしてくれる訳ではないので攻めていくことが必要だ」と話された。

回を投げて6安打無失点の好投を見せた。試合は8回終了時点で7点以上の差をつけたため、大会の規定によりコールドが成立した。
試合後佐々木君は「ずつと迷惑を掛けていたの自分の仕事をしようと思った。スライダーがうまく決まってくれた」と笑顔を見せた。主将の篠原君は「佐々木君が

	一	二	三	四	五	六	七	八	計
彦根東	1	0	1	0	1	0	3	2	8
近江兄弟社	0	0	0	0	0	0	0	0	0



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号